

平成17・18年度文部科学省指定

「コミュニティ・スクール推進事業」調査研究

研究報告書

保護者と地域住民が参画した学校運営の あり方について



田植え体験学習（稲荷部・池田さん水田で）

平成19年2月
菊川市立内田小学校

目 次

- 1 コミュニティ・スクール（化）の推進 (1)
- 2 コミュニティ・スクール推進委員会の活動経過 (2) ~ (4)
- 3 保護者・地域住民の参加による協議組織の歩み (5) ~ (6)
- 4 内田小学校の教育活動と地域との関わり (7)
- 5 「うちだっ子協議会」の組織づくり (8) ~ (9)
- 6 「うちだっ子協議会」の年間活動 (10)
- 7 「うちだっ子協議会」運営要項 (11) ~ (12)
- 8 「保護者・地域住民の参加による協議組織」の構成メンバーの推移 (13)
- 9 研究に携わって下さった方々 (14)
- 10 コミュニティ・スクール推進委員会から (15) ~ (17)

コミュニティ・スクール（化）の推進

内田小学校長 松下 昇

1 「コミュニティ・スクール推進事業」について

本校は文部科学省が「将来の学校のあり方」を検討する中で、先行例をもとに打ち出した「コミュニティ・スクール推進事業」指定研究を平成17・18年度、県内の3つの（小）学校の一つとして受けました。この研究は今までの指定研究とはやや異なり、「学校運営そのものが対象」であることと「地域住民や保護者が参画する学校運営を研究する」ところにあり、学校（教職員）のみで進める研究ではないところにあります。

2 本校の流れ

本校は地域（コミュニティ）としての「まとまり」ある菊川市の内田地区にある小学校です。この「まとまり」の源は「11の構成自治会」と「連合体（合議組織）としての内田自治会」の密接なつながりにあると感じます。「地域一体型の事業」をきちんと継承していて、このことが人と人とのつながりを密にし、地域としての力量を保つことにつながっている大きな要素だと思います。

内田小学校は「教育活動」「PTA活動（各部・子ども会）」などで、地域のこうした力に支えられ大きな成果を得ています。長年の真摯な取り組みが認められて、今年11月、本校PTAは日本PTA全国協議会から「表彰状」をいただきました。数ある学校PTAの中からノミネートを受け、受賞に結びついたことは大変な栄誉だと思います。

また、本校は平成14年11月に旧菊川町内の学校としては一早く「学校評議員会」を発足させました。学校評議員は学校での子どもの教育活動に対して地域の目線で「助言」をしてくれる存在であり、「地域住民や保護者が参画する学校運営」につながる動きでもありました。助言などをもらうためには「学校の現状を理解してもらう」ことが不可欠で、保護者以外に「学校を説明する」機会ができた訳ですが、同時に「学校支援」を考えてくれる存在が出来た訳です。

こうした中、平成17年4月から「コミュニティ・スクール推進委員会」を発足させました。月1回の会合の中で、「学校評議員会」の性格を継承しながら「コミュニティ・スクール」実現に向けた話し合いを進めてきました。

3 「コミュニティ・スクール推進委員会」から「うちだっ子協議会」へ

この2年間、コミュニティ・スクールについて研究を進めてきた中で、本校が向かうべき方向性はつかめたように思います。学校運営を支援してくれる協議組織を「うちだっ子協議会」と呼ぶつもりです。メンバーは「自治会代表・PTA代表・ボランティア代表」などで合計10名ほどで構成し、「内田小の教育活動への全般的な支援」・「地域との連携活動」・「教育ボランティアとの連携」「内田小教育への要望」などについて話し合い、よりよい「内田小教育」をつくっていくために共に歩んでくれる存在になってくれることを期待しています。

そして、こうしたサイクルを積み重ねることで、新たな課題を解決しようという動きが生まれ、「学校運営協議会」につながるステップになると考えています。

平成17年度「コミュニティ・スクール推進委員会」の推進経過（定例会・月1回）

| 月 日 | 主 な 話 合 い 内 容 |
|--------------------|--|
| 6月 6日(月) | 第1回学校運営協議会制度研究指定校連絡協議会(2名) |
| 第1回会合 6月10日(金) | コミュニティスクール推進委員を委嘱(市教委より委嘱状) 学校運営協議会について文部科学省パンフレットで概略説明(質疑) |
| 第2回会合 7月20日(水) | 内田小学校の教育概要説明(質疑・理解) 学校評議員と学校運営協議会委員の違い 研修視察校の検討 |
| 8月21日(日)・22日(月) | 京都・地域教育フォーラム視察(4名) |
| 第3回会合 8月29日(金) | 京都・地域教育フォーラム参加者報告 「新しいタイプの学校運営研究」先行校の情報をもとに学習会 |
| 第4回会合 9月28日(水) | 2学期の学校の様子概要説明(質疑・理解) 先行校情報をもとに学習会 |
| 校内研修会 10月21日(金) | 静岡大学 藤原文雄 助教授より ～「学校運営協議会」について(講話)～ |
| 10月28日(金) | 第2回学校運営協議会制度研究指定校連絡協議会(2名) |
| 第5回会合 10月31日(月) | 2学期中間期の学校の様子概要説明(質疑・理解) 先行校情報をもとにした学習会・これからの予定 |
| 11月 4日(金) | 千葉・コミュニティスクール研究指定校(秋津小)研究発表会(1名) |
| 第6回会合 11月10日(木) | 千葉県・秋津小学校視察報告(質疑・理解) 先行校情報をもとにした学習会 |
| 第7回会合 12月21日(水) | 「内田小学校協議会」運営要項の検討 「内田小学校協議会」と学校運営との関わりについて学習会 |
| 第8回会合 1月27日(金) | 「内田小学校協議会」運営要項の検討 「中間まとめ」について 教育課程編成作業との関わりで協議 |
| 1月31日(火) | コミュニティスクール推進フォーラム・東京会場(2名) |
| 2月 9日(木) | コミュニティスクール推進フォーラム・名古屋会場(2名) |
| 2月10日(金) | 第3回学校運営協議会制度研究指定校連絡協議会(2名) |
| 第9回会合 2月27日(月) | 教育課程編成作業との関わりで協議 |
| 第10回会合 3月 8日(水) | 学校ボランティアへ「初年度の活動を紹介」 次年度の予定について等 |

平成18年度「コミュニティ・スクール推進委員会」の推進経過（定例会・月1回）

| 月 日 | 内田小「コミュニティ・スクール推進委員会」の活動 | 関連する活動 |
|--------------------|--|--|
| 4月 | コミュニティ・スクール推進委員就任の打診 | 6 入学式・始業式 19 交通安全教室 21PTA 総会・授業参観 |
| 第1回会合 5月26日(金) | ・委嘱状渡し・委嘱内容の把握 ・学校の様子説明 ・推進構想・年間計画の把握 等 | 14 第1回 PTA 奉仕作業 15 健全支部総会 19 内田ウォッチ 20 地区自転車コンクール(優勝) |
| 6月 8日(木) | ・第1回県コミュニティ・スクール連絡協議会 | 5 ふれあい農園いもほり 8 麦刈り(池田農園) 9 交通安全を語る会 11PTA リサイクル奉仕 15 田植え(池田農園) 18 県自転車コンクール出場 19 授業参観・懇談会 28・29・30 自然教室(4・5年) |
| 第2回会合 6月19日(月) | ・授業参観 ・年間の推進計画について ・あいさつ運動について ・学校公開日について 等 | |
| 6月23日(金) | ・100選事業実行委員会(塩の道企画) | |
| 第3回会合 7月21日(金) | ・学校の様子説明 ・学校公開日について協議 ・視察校の検討 等 | 2 市子連トッポボール大会 (男子1位・2位) 7 民生委員との懇談会 9 第2回 PTA 奉仕作業 25 1学期終業日 |
| 8月 5日(土) | ・第1回100選事業「塩の道巡り」 ～相良・茶々塩屋敷で塩づくり体験～ | 4 商工会夜店市リレー出場(6年) 8 読書ボランティア主催 木かげ文庫(台風で中止) 27 健全育成主催・親子奉仕作業 |
| 学校視察 8月17日(木) | ・三重県津市教育委員会及び南が丘小学校 現地視察(8名) | |
| 第4回会合 8月28日(月) | ・学校中間評価の説明 ・学校公開日について協議 ・視察校の報告 等 | |
| 第5回会合 9月26日(火) | ・学校の様子説明 ・学校公開日について協議 ・推進委員会企画の検討 等 | 3 内田地区運動会(自治会) 9PTA 運営委員奉仕作業 18 内田地区敬老会(自治会) 24 小学校運動会 |
| 第6回会合 10月27日(金) | ・学校の様子説明 ・学校公開日について協議 ・推進委員会企画の検討 | 4 市小学校陸上大会(6年) 14・15 内田地区内祭典 25 授業参観・講演会 29 市菊茶香祭りリレー出場(5・6年) |
| 10月31日(火) | ・第2回県コミュニティ・スクール連絡協議会 | |

| 月 日 | 内田小「コミュニティ・スクール推進委員会」の活動 | 関連する活動 |
|--------------------|--|---|
| 学校視察 11月2日(木) | ・千葉県習志野市立秋津小学校公開研究会視察(1名) | 5 ふれあい農園(サツマイモ収穫) 7 市内親睦音楽会(4年) 11PTA トリム大会 15・16 修学旅行(6年) 12 地区センター祭(自治会) 17 日本 PTA 連合会より内田小 PTA 表彰される。 |
| 第7回会合 11月22日(水) | ・内田フェスタ当日の企画の検討 等 | |
| 11月25日(土) | ・内田フェスタ(学校公開日) ・推進委員による「コミュニティ・スクールについて考える会」を開催 | |
| 12月8日(金) | ・Cスクール推進フォーラム(1名) | 3 内田地区総合防災訓練 10PTA リサイクル・奉仕作業 22 終業式 |
| 第8回会合 12月21日(木) | ・「うちだっ子協議会」組織と運用 ・立ち上げまでの計画 ・学校外部評価項目の検討 等 | |
| 第9回会合 1月26日(金) | ・「うちだっ子協議会」組織と運用 ・公募について ・100選事業について ・まとめ冊子について ・次年度の経営方針(案)について | 28 明るい社会づくり推進協議会県大会・ソーラン披露 |
| 2月7日(水) | ・第3回県コミュニティ・スクール連絡協議会 | 4 PTA 運営委員(手形)作業 6 新生入入学説明会 15 麦踏み(池田農園) 25 グリーンガーデンコンサート(5・6年ソーラン出場) |
| 第10回会合 2月27日(火) | ・次年度の教育計画について ・100選事業について ・まとめ冊子発刊 ・次年度の経営方針(案)について ・第2回100選実行委員会(塩の道) | |
| 3月3日(土) | ・第2回100選事業 ～内田の塩の道を巡ろう～ | 19 終了式 20 卒業式 |
| 3月9日(金) | ・スクールガードと語る会 | |

保護者・地域住民の参加による協議組織の歩み

平成14年度

- 6月、子どもをはぐくむ地域教育活動促進事業の認可を受け、内田地区に「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」(代表PTA会長)を立ち上げる。「内田の名所や歴史上の人物」などを100項目選び、冊子作成の方針を立てた。
- 11月、内田小学校に評議員(8名)が誕生、3月までに「評議員会」を2回開催。
- 2月、冊子「内田名所・人物100選」を完成、学区を南・北コースに分けて、「フィールドワーク」を実施。

平成15年度

- 4月、評議員8名に継続要請。
- 4月、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」組織の継承。年間2回、休業日親子活動を軸とした事業を計画。
- 10月、南コースフィールドワーク(太郎坊大権現方面)を行う。
- 3月、北コースフィールドワーク(河津桜・初代知事・関口隆吉氏屋敷跡方面)を行う。
- 100選冊子関連人物を講師に招き、「地域の人からお話を聞く会」を開く。
- 「地域を知ろう」というテーマで「生活科」や「総合的な学習」で「100選冊子」を活用。



100選名所「船見山太郎坊大権現」大緑日に親子活動として訪問

平成16年度

- 4月、「評議員」を6名(うち3名継続)要請。
- 4月、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」年間2回の休業日親子活動を継続。
- 8月、「火の玉のでる道」にちなんで、「親子きもだめしやふれあいの集い」を行う。
- 10月、「魅力ある学校づくり」優良校視察の一環で、神奈川県愛川町教委と小中校長会の視察を受ける。
- 12月、「凧山」にちなんで、「親子凧づくり・凧揚げ」を行う。
- 12月、「地域の人からお話を聞く会」で、地元在住の画家、岡本透氏を講師として招聘。
- 4年生が「ぼくらの100選」小冊子を作成。
- 3月、文科省より、平成17・18年度「コミュニティ・スクール調査研究校」の指定を受ける。



100選名所「凧山」にちなんで親子で「凧づくり・凧揚げ」～南部農村公園にて「凧揚げ」～

平成17年度

4月、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」、年間2回の休業日の親子活動を継承。
5月、「コミュニティ・スクール推進委員」に6名就任要請。
6月、「コミュニティ・スクール推進委員会」立ち上げ。「学校評議員」の役割を持ちつつ、「学校運営協議会」につながるための主体となる。
7月、「常夜灯と富士垢離」にちなんで、「さんげさんげを見に行こう」を企画、実施。
12月、「しめ縄づくり」に親子で挑戦しようを企画、実施。
2月、「はごろも賞」受賞
2月、「研究の中間まとめ」発表。
「コミュニティ・スクール推進委員会」は月1回の定例会合を開催し、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」事業や「PTA事業」、「健全育成支部事業」、「継承されている連携事業」を総合的に話し合う学校外部機関として「新しい協議会」を位置づけること、学校運営について提言ができやすくするため、「学校運営」をPDCAサイクルの流れの中でとらえ、協議していくことが望ましいことの方角を示す。



100選名所段平尾常夜灯の夏祭り「さんげさんげ」でかき氷をふるまう校長とPTA会長



「C・S推進委員会」にて

平成18年度

4月、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」、年間2回の休業日の親子活動を継承。
5月、「コミュニティ・スクール推進委員」に8名就任要請
(一部交替)。
8月、「100選・塩の道」にちなんで、「相良茶々塩屋敷」を訪問し、親子で塩づくり体験を実施する。
8月、推進委員と学校職員8名で三重県津市教委と南が丘小学校を視察訪問、先行実践校の実情を研修。
11月、本校の学習発表「内田フェスタ」において、静大・藤原助教授を招き推進委員会企画、「コミュニティ・スクールについて考える会」を開催。
2月、「研究のまとめ」を発表。
3月、「100選・塩の道第2弾」として、「内田地区の塩の道巡り」を実施。
「コミュニティ・スクール推進委員会」は月1回の定例会合を開催し、「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」組織の整理、「PTA事業」、「健全育成支部事業」、「継承されている連携事業」を総合的に話し合うための「保護者・地域住民の参加した協議組織」として「うちだっ子協議会」を発足させることが望ましいことと、その組織は「学校運営」についても提言していけるよう、PDCAサイクルの流れの中で、「学校評価機関」としての役割も果たしていくことが望ましいという方角を示す。



100選名所「塩の道」にちなんで塩づくり体験
～相良海岸にて～

内田小学校の教育活動と地域との関わり

学社融合的な面

- a 「郷土を愛するうちだっ子はぐくみ協議会」(通称：100選事業)
年2回の休業日における親子活動 100選冊子の活用
「地域の人の話を聞く会」等
- b 自治会(防災・福祉・文化)との連携事業
地区運動会 地区敬老会 地区センター祭り 地区自主防災訓練 等
- c 地区センターでの活動・「なかよし読書」等
- d 市健全育成内田支部の活動
七曲池、学校・地区センター付近の親子奉仕作業
「あいさつ運動」の推進及び標語作成・活用
「ひこ星」(機関誌)の発行

生活科や総合の時間(かがやきタイム)での関わり

- a 100選冊子掲載内容をもとにした校外学習
- b お茶・自然観察・水辺の生き物・菊川の治水・麦稲作づくり等の体験学習
- c 学校行事「内田フェスタ」(12月)の体験コーナー(「名人に弟子入り」等)での連携

学習支援ボランティアの関わり

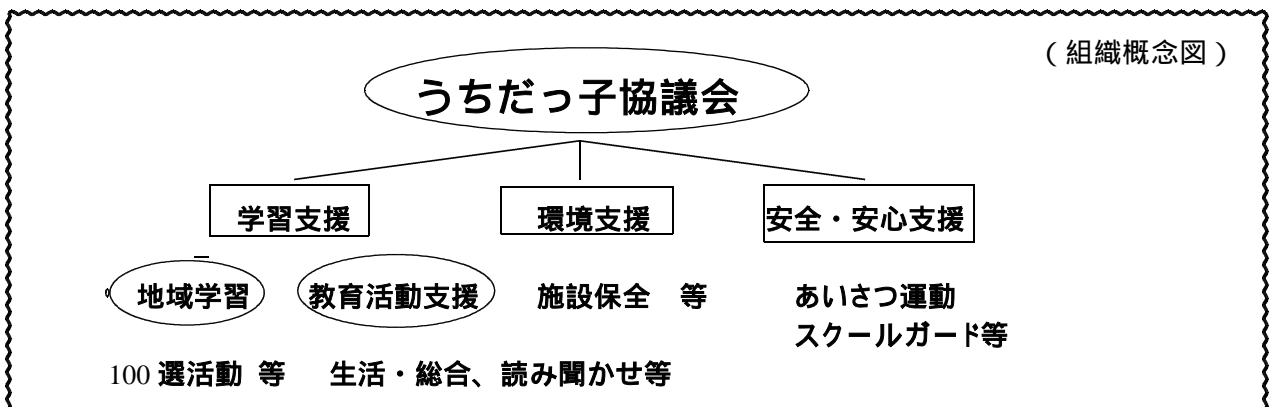
- a 図書館・読み聞かせボランティア(通称：くすの木・15名)
- b 「総合的な学習」・校外学習支援ボランティア(田んぼ・池田さん)
- c 「道徳」「学活」等での講師講話招聘(100選冊子関係者中心)
- d 行事等での引率支援・指導支援
運動会 内田フェスタ 内田ウォッチング 生活科校外学習

学校施設の充実・補修面での支援

寄附・小破修理・校庭の整備・グラウンド手入れ支援・学年園の整備 等

安全・安心システム構築に向けた取り組み

- a 学校・PTA・自治会連携による「あいさつ運動」(うちだまるごと あいさつ宣言)
- b 「子ども110番の家」の拡充
- c 菊川市「地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業」の推進(ふれ愛さつ運動)
- d スクールガード活動
- e 交通安全での連携
交通安全教室 父母と交通安全リーダーと交通安全を語る会
地区(県)交通安全自転車リーダー育成大会選手の指導



「うちだっ子協議会」組織

うちだっ子協議会

保護者 2
(PTA代表)
地域住民 2
ボランティア 3
(学習支援B)
(環境支援B)
(安全支援B)

社会教育関係 1
公募委員

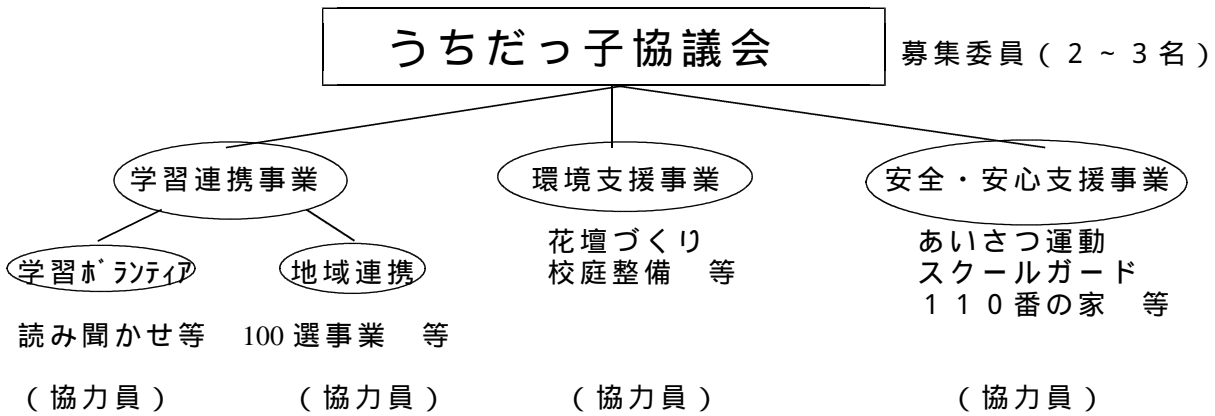
(月1回の定例会)

| 支援分野 | 関わりを持つ連携事業・組織 |
|--|--|
| 【学習支援】 地域との連携事業 協議会委員(2) 協力員(必要数) 教職員 | 100選活動 ふれあい農園交流 自治会祭り・・・自治会・内田小(作品・ソーラン等) PTA子ども会 等 他の主な催し(敬老会・地区運動会・地区防災訓練)との連携 ソーラン発信 健全育成活動・あいさつ標語づくり・親子作業・100選支援 ひこぼし作成 等 |
| 【学習支援】 学校支援事業 協議会委員(2) 協力員(必要数) 教職員 | くすの木ボランティア・図書館の整備・読み聞かせ読書で支援 学習支援ボランティア 読書活動支援ボランティア 生活・総合への支援 ・稲・麦づくり・手揉み茶・生き物調べ・茶積み・園芸・茶工場 ・高齢者との交流・内田のはなし・昔の遊び その他の授業への支援 ・図工・音楽 道徳 等 行事への支援 応声教院・長福寺・大蔵寺・トムトム・七曲池・古川神社 平尾公園 等 運動会支援(役割支援) 内田フェスタ支援(名人講師) 竹細工・木工・押し花・折り紙・フラワーアレンジメント・茶道 琴・うどんづくり・エアロピクス・餅つき・あめ作り 「白」手配 |

| 支援分野 | 関わりを持つ連携事業 |
|--|---|
| 【環境支援】 協議会委員(2) 協力員(必要数) 教職員 | 校庭関係 PTA・運営委員・福祉委員 樹木管理等 花壇 木工大工(PTA有志 他) 建物関係 うさぎ・鶏小屋整備、校舎内小破修理 校舎壁面 大小プール塗装 その他 草刈り |

| 支援分野 | 関わりを持つ連携事業 |
|---|---|
| 【安全・安心支援】 協議会委員(2) 協力員(必要数) 教職員 | あいさつ運動・あいさつサポーター・あいさつ幟旗・標語 内田地区スクールガード 内田地区担当スクールガードリーダー 内田地区担当安全パトロール(緑) 子ども110番の家 交通安全 自転車リーダー育成 自転車免許講習指導 交通安全を語る会 |

うちだっ子協議会委員 協力員を募集しています



〔うちだっ子協議会〕

学校と地域住民や保護者が「連携」しながら、よりよい学校づくりに向けて話し合っていく組織です。

当面は主に
学校の教育活動などへの「支援ボランティア」について
「内田名所・人物100選事業」の推進について
「自治会との連携事業」について 話し合います。

会合は月1回のペース、開始時間は原則19時です。

協力員も募集しています。
ご協力いただける方ならどなたでも結構です。

募集について

- ・資格条件等は特に問いません。
- ・応募締切りは設けません。
- ・2~3名募集します。
- ・会合は5月開始を予定しています。

問い合わせ先

〒439-0034
菊川市下内田1637
菊川市立内田小学校
0537-35-2632
FAX " 35-3014

「うちだっ子協議会」の年間活動関連

| | うちだっ子協議会等 | 学習支援 | 環境支援 | 安全・安心支援 |
|-----|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 4月 | 委員選考 P T A 総会 | くすの木ホランテア 募集 | | S ガード活動開始 あいさつ運動開始 |
| 5月 | 第 1 回会合 (委嘱) 児童と顔合わせ会 | 読み聞かせ 児童と顔合わせ 内田ウォッチング | P 第 1 回奉仕 児童と顔合わせ | S ガード活動 あいさつ運動 児童と顔合わせ |
| 6月 | 第 2 回会合 | 生活・総合など 田植え・麦刈り (100選活動計画) | P 第 2 回奉仕・リ サイクル活動 | S ガード活動 あいさつ運動 |
| 7月 | 第 3 回会合 | 生活・総合など | 福祉・除虫作業 | S ガード活動 あいさつ運動 (第 1 回語る会) |
| 8月 | 第 4 回会合 PDCA 中間評価 | 100選事業 | 健全・親子奉仕 | |
| 9月 | 第 5 回会合 | 生活・総合など 地区運動会 敬老会 学校運動会 | P 運営奉仕 | S ガード活動 あいさつ運動 引渡し訓練 |
| 10月 | 第 6 回会合 | 生活・総合など 稲刈り・手もみ茶 | | S ガード活動 あいさつ運動 |
| 11月 | 第 7 回会合 | 生活・総合など 100選事業 | | S ガード活動 あいさつ運動 避難訓練 |
| 12月 | 第 8 回会合 PDCA 年間評価 | 内田リスト(名人) 生活・総合など | P 第 3 回奉仕・リ サイクル活動 | S ガード活動 あいさつ運動 |
| 1月 | 第 9 回会合 | 生活・総合など | | S ガード活動 あいさつ運動 |
| 2月 | 第 1 0 回会合 申し伝え | 生活・総合など 手形づくり 麦踏み | P リ・運営委奉仕 | S ガード活動 あいさつ運動 |
| 3月 | 委員選考 卒業式 | 生活・総合など | | S ガード活動反省 あいさつ運動 |

「うちだっ子協議会」運営要項

第1条 名称

この会は、「うちだっ子協議会」と称する。

第2条 目的（役割）

- (1) 本会を中核として、地域のニーズを学校運営に生かすシステムの構築を図る。
教育目標や教育計画について提示を受け、協議及び提言をする。
教育活動の状況や成果・課題について報告を受け、協議及び評価・提言をする。
- (2) 学校と地域社会との連携・融合による教育活動を創造・推進することにより、学校教育の充実・活性化を図る。
- (3) 「地域の学校」という観点から教育環境の保全・充実が図れるよう学校の要望等に対し、積極的に協議する。
- (4) 安全で安心なコミュニティづくりに向けた取り組みを推進する。
内田小学校・内田小PTA・内田子ども会・内田地区自治会等が連携して推進する「地域ぐるみの取り組み」の工夫・充実を図る。
通学上の安全を確保するための必要な提言を行い、支援策を協議する。
- (5) 内田保育園・内田小学校及びその保護者、自治会役員、生涯学習委員、健全育成委員、民生児童委員、社会教育委員等で組織する「郷土を愛するうちだっ子はくぐみ協議会」事業を継承する。
- (6) 内田保育園・近隣小・中学校との連携を深め、一貫教育の視点に立った教育活動が展開できるよう必要な支援について協議する。

第3条 組織

本会は、内田小学校PTA、地域関係諸機関・団体の代表、公募委員及び内田保育園職員・小学校教職員をもって組織する。

第4条 委員

- (1) 本会の委員は、次の者をもって構成する。

| | |
|---------------------------|----|
| 内田小学校PTA代表（現会長・前会長） | 2名 |
| 内田地区自治会（現会長・前会長） | 2名 |
| 地域（教育）ボランティア | 3名 |
| 学習支援（1）・環境支援（1）・安全支援（1） | |
| 社会教育関係経験者 | 1名 |
| 内田小学校教職員（校長・教頭・教務主任・事務職員） | 4名 |
- (2) 公募について
「学校運営を開く」方向から「公募による委員」を募る。

第5条 委員長及び副委員長

- (1) 本会は、委員長1名、副委員長2名をおく。
- (2) 委員長、副委員長は委員の互選により定める。
- (3) 委員長は、本会を代表して会務を統括する。
- (4) 副委員長は委員長を補佐し、委員長不在の時はその任務を代行する。

第6条 事務局及び事務局員

- (1) 事務局は内田小学校内におく。
- (2) 事務局員は、学校職員3名（教頭・教務主任・事務主任）とする。
- (3) 事務局員は、事務局長（教頭）、書記、会計を担当する。

第7条 オブザーバー

- (1) オブザーバーは、次の者をもって構成する。
学識経験者
菊川市教育委員会（教育事務所）関係者
- (2) オブザーバーは必要に応じて委員長が招集し、委員会で助言を行う。

第 8 条 委員会

- (1) 委員会は委員長が招集する。
- (2) 委員会は、委員の 2/3 の出席をもって成立し、出席委員の過半数の賛成をもって可決する。
- (3) 委員会には、委員長の要請に応じて内田小学校教職員が出席する。

第 9 条 部会

- (1) 本会には、部会をおく。
- (2) 部会は委員で構成し、部長は部会で互選する。部長は、必要に応じて部会を開催する。

第 10 条 協力員

- (1) 協力員は、部会において組織する。
- (2) 協力員は、委員会の了解のもと、部会の要請に応じて本会の活動に協力をする。

第 11 条 活動

- (1) 学校運営・教育活動への参画について研究推進
教育目標や教育計画についての提示を受け、協議及び提言をする。
教育活動の状況や成果・課題について報告を受け、協議及び評価・提言をする。
- (2) 学校・家庭・地域の連携事業の研究推進
学社融合による地域連携活動の企画・運営に参画し、結果を吟味する中で次年度の事業のあり方について協議及び提言をする。
保護者や地域住民の願いを学校教育に反映していくため、P D C A サイクルへのよりふさわしい関わり方について協議し、実施する。
- (3) 「内田名所人物 100 選活動」の企画・運営について協議及び提言をする。
- (4) 安全で安心な学区づくりに向けた取り組みの推進。
内田小学校・内田小 P T A ・子ども会・内田地区自治会が連携して推進する、「地域ぐるみの取り組み」について協議及び提言をする。
通学上の安全を確保するため必要な協議及び提言をする。
- (5) 保育園・小・中学校との連携
内田保育園、近隣小・中学校及び教育関係機関との連携を深め、連続性のある教育活動が進められるよう必要な協議を行う。
- (6) 「うちだっ子協議会」組織の充実発展に向けて
「うちだっ子協議会」の組織・運営について、「地域とともに、開かれた内田小学校」に向かうため必要な協議や提言を行う。
各支援部の活動について提言する。

第 12 条 委員の任期と在任期間

- (1) 委員の任期は 1 年とする。但し再任は妨げない。
- (2) 在任期間は 4 月 1 日から 3 月 31 日までとする。但し、組織推薦者（P T A ・自治会等）は、各組織で後任者を決定するまでを任期とする。

第 13 条 協議会の開催

- (1) 「うちだっ子協議会」は、原則として毎月第 3 金曜日、午後 7 時から行う。
- (2) 会の進行は事務局員が行う。

第 14 条 会則の改廃

会則の改廃は委員会において協議し、出席委員の 2/3 の賛成をもって可決する。

組織構成メンバーの推移

| 学校評議員 (H14 ~ H16) | | コミュニティ・スクール推進委員 (H17・18) | | うちだっ子協議会 (H19 ~) | |
|--|-------------|---|-------------|---|-------------|
| | 役職等 | | 役職等 | | 役職等 |
| 1 | 地域の代表 (自治会) | 1 | 地域の代表 (自治会) | 1 | 地域の代表 (自治会) |
| 2 | 教育ボランティア | 2 | 地域の代表 | 2 | 地域の代表 |
| 3 | 教育ボランティア | 3 | 教育ボランティア | 3 | 教育ボランティア |
| 4 | 社会体育 (スポ少) | 4 | 教育ボランティア | 4 | 教育ボランティア |
| 5 | 中学生の親の代表 | 5 | 社会教育関係の代表 | 5 | 教育ボランティア |
| 6 | P T A 代表 | 6 | P T A 代表 | 6 | 社会教育関係の代表 |
| 7 | 小中高生の親の代表 | 7 | P T A 代表 | 7 | P T A 代表 |
| 8 | 幼児を持つ親の代表 | 8 | 小中生の親の代表 | 8 | P T A 代表 |
| 9 | | 9 | | 9 | (公募委員) |
| 10 | | 10 | | 10 | (公募委員) |
| 役 割 | | 役 割 | | 役 割 | |
| <p>地域に開かれた魅力ある学校を実現するため設ける。 学校の状況 (子どもの様子) について説明を受ける (学校は説明責任を果たす) 学校運営に関して意見を述べる。</p> <p>必要に応じて一同に会した評議員会を催し、意見交換する。</p> | | <p>学校評議員 (会) を継承 「学校運営協議会」設置 へ向けた研究推進母体 月 1 回定例会</p> | | <p>文部科学省がいう条件は一部満たしていないが、「学校運営」について、地域や保護者の立場から「意見」や「提言」を述べる。 意見・提言は尊重し、運営にあたる。 月 1 回程度の協議会</p> <p>主なポイントは ・学校運営のあり方 ・学校支援のあり方 ・地域連携事業のあり方 ・100選事業の継承</p> | |

【コミュニティ・スクール推進委員】

平成17年度

栗野 進 (自治会代表)
竹内 常男 (保護者代表)
横山 節子 (小中生母親代表)
岡本まさよ (教育ボランティア)
大橋 敏雄 (教育ボランティア)
平野 眞 (社会教育関係)

平成18年度

岡田 安正 (自治会代表)
栗野 進 (地域住民)
加藤 勝也 (保護者代表)
竹内 常男 (中学生親代表)
横山 節子 (小中生母親代表)
岡本まさよ (教育ボランティア)
大橋 敏雄 (教育ボランティア)
浅羽 睦巳 (社会教育関係)

【教育委員会関係者】

中部教育事務所指導主事 齋藤 智子
菊川市学校教育課長 大森 孝

【内田小学校職員】

平成17年度

校長 松下 昇
教頭 鈴木登志代
教諭 高橋 憲司
教諭 兵藤 朋代
教諭 飯田 宏美
教諭 田代 直義
教諭 内堀 卓哉
教諭 河合 幸代
教諭 松浦 寿子 (育休中)
講師 宮内きくい
養護教諭 栗田 朝子
事務主査 平川 洋子
嘱託校務員(市) 齋藤 順子
給食補助員(市) 横山 弘子
生活支援員(市) 渥美 恵子

平成18年度

校長 松下 昇
教頭 山田 卓
教諭 平井 尚喜
教諭 兵藤 朋代
教諭 飯田 宏美
教諭 田代 直義
教諭 鴨川 幸代
教諭 河合 幸代
教諭 松浦 寿子
講師 宮内きくい
講師 榛葉 梓
養護教諭 栗田 朝子
事務主査 平川 洋子
嘱託校務員(市) 齋藤 順子
給食補助員(市) 横山 弘子
生活支援員(市) 渥美 恵子

推進委員氏名（岡田 安正）

私は平成18年度コミュニティ・スクール推進委員や地域自治会役員をやらせて頂きました。おかげさまで今年度は各種会議や講演会にも出させて頂く中で、私自身に久しぶりに教育(?)を受ける事が出来ました。

その中で改めて“師弟教育は学校だけではない”まず一番に親、そして地域に住む人たちの協力も不可欠だと覚えました。

特に学齢前の子どもさんに教えなければならない親の仕事は”躰”(古来より出来て当たり前とされてきた礼儀と作法)とやって良いことと悪いことの善悪の教え等は、三つ子の魂百までと言われるように1歳から5歳までにしっかり教えておく必要があること。

また、叱るということは教えるという事という諺があるように、この年代の内は親がいくら叱っても遺恨を残すこともないこと等々。

又、地域の人たちの大事な仕事は道で出会った青少年に声をかけるということです。あいさつ運動の歴史が浅い今「こどもたちはあいさつができないネー」という前に、地域に住む我々が先に声をかけたらあいさつ運動がもっと盛り上がるでしょう。

19年度も学校と地域の連携のため、少しでも役に立てたらと思っています。

推進委員氏名（栗野 進）

自治会OBとして、今年も参加させていただきました。委員としての年度を終わろうとしていますが、活動の難しさを痛感する今日この頃です。

学校関係の方、市役所、社会教育関係の指導者のかた、我々住民・・・皆さんが一体となって「子どもの安全・安心を守る環境作り」そして「社会教育活動」を行っていけば、まさに「鬼に金棒」万全であるはずなのに、良くない事が報道される今の世相、なぜだろう・・・?

人間として、大人として根本的なものが失いつつあるからではないか? コミュニティ・スクール推進委員の一員として社会の移り変わりにあった協力と自身の勉強になれたらあるがたいと思っています。我が内田小学校が諸先輩、諸先生方、PTAの方々、住民の方々の力ですばらし子どものための地域活動の輪が広がることを期待します。

推進委員氏名（加藤勝也）

コミュニティ・スクールとは「保護者、地域住民が学校運営に参画する組織」「地域・保護者の声を学校教育に反映できる形」の学校運営組織であり、今後の学校運営の最先端の形です。内田型コミュニティ・スクールの方向をどのようにするべきか考えるときに、内田地区の各代表が集まって「うちだっ子協議会=学校協議会」を立ち上げていくことになりました。今後はPTAもPTAで独自の活動もありますが、「うちだっ子協議会」の実働部隊の役割が大きくなるのではないかと思います。また、PTA活動の企画・立案や実行の音頭をとり、学校への提案という形でPDCAサイクルを回していく必要があるかもしれません。とにかく、世間では毎日学校に関する悲しいニュースが流れています。内田小は以前から保護者・地域の方々と学校との下地はできていますが、今後PTAだけでは対処できない問題が発生し、地域の力を集めて対処しなくてはならない場合にも「うちだっ子協議会」が力を発揮していってくれることを期待します。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

推進委員氏名（竹内 常男）

どうせ登るなら富士山に...コミュニティ・スクール委員としての思い！

コミュニティ・スクール研究事業に指定されて、早2年が過ぎようとしています。

これからは、いままで協議してきたことを実践する時期になってきましたが、地域の人々と学校との繋がりをより強め、「地域の学校」としてより成長していく必要があります。

「地域の学校」の理想は、学校の授業や奉仕活動に、地域の人やOBの人たちが、自由に行き来したり、ボランティアの人たちの手により、学校のグラウンドや花壇には草ひとつなく、いつでも花や樹木で覆われていて、子供達と一緒に遊ぶ地域の人たち、年の差や性別の差もなく地域融合した姿こそが理想の姿ではないでしょうか。

今の内田小も、地域と融合し充分素晴らしく、満足できるものだと思います。しかし、これに甘んじることなく、より強固なものとして、子や孫、曾孫と継承し、より高い目標に向かって活動していく必要があります。

その為には、今の学校関連組織を整理・統合し、より柔軟で強固な組織に発展させて、関わりあう人たちのメンバーは変わることはあっても、組織の活動は衰えることなく、より高い目標に向かっていけるような組織を作る必要があります、それが出来た時、初めて「地域の学校」として確立されるのではないのでしょうか。

そして、その「第一歩」がコミュニティ・スクールであり、それこそが富士山という高い目標に登る為の第一歩になれると思います。

推進委員氏名（横山節子）

コミュニティ・スクール委員を終えて

委員として私が思ったことは、地域と学校を結ぶということはお互いに情報を交換していくことだということです。

そのためには、地域の方のだれもが参加しやすい場を作っていけたらよいと思います。

子どもたちに大切なことは、沢山のの人たちとふれあい、声を掛け合っていくことです。

親や家族だけでなく地域のいろいろな分野の人たちとふれあっていくことは自分将来や自分たちの育てている地域を考えることにつながっていくと思います。

その子ども達が大人になり、自分たちの子どもの頃の体験を次の世代の地域の子どもたちに伝えてくれるのを私は望んでいます。

推進委員氏名（岡本まさよ）

いよいよ、4月から「うちだっ子協議会」がスタートします。2年前、コミュニティスクール推進委員の活動が始まり、先進校の活動を学びながら、内田小の在り方を模索してきました。しかし、学校やそれを取り巻く地域の環境はそれぞれ違うので、その特性を活かしながら活動していくことが大切ではないかと考えました。幸い、内田には数多くの先輩が長い年月築き上げてくれた、学校と地域の太いパイプがありましたので、それを活かした活動をしていくことになりました。それぞれの活動が横の連携をとりながら進められれば、活動の輪はさらにひろがるのではないかと思います。来年度からの「うちだっ子協議会」の運営にその組織が十分機能することを願っています。

推進委員の活動を通して、私自身、多くのことを学び、体験できたことを感謝しています。いままでは受け身の地域活動でしたが、たまたま声を掛けていただいた仲よし読書から始まり、100選活動、推進委員の仕事を経て、今、自分から少しずつ活動に参加できそうな気持ちになっています。「活動を・・・」という呼びかけがあったら、できる限りまわりの人たちにも声を掛けて参加したいと思います。おじいちゃん、おばあちゃんパワーで・・・。

推進委員氏名（大橋 敏雄）

私はコミュニティ・スクール推進委員として2年間参画させて頂きましたが、初年度は暗中模索、2年目を向え、これからの学校運営のあり方、大切さがわかって参りました。

この度、「うちだっ子協議会」として発足するに至りましたが、今後これを実施し定着させるにあたって不安がないわけではありません。

うちだの子どもたちは内田小学校だけで（関わる）はないはずですが、うちだっ子の90%位は内田保育園（3年）、内田小学校（6年）、市立中学校（3年）へと進むと思います。従って、12年間の連携、協議が必要ではないでしょうか？

連携のあり方について、教育者、保護者、地域住民のさらなる協議が必要と考えます。「うちだっ子」と「老人会」・「子ども会」と「保育園児」など各自治会単位のコミュニケーションなど、草の根的に学校に対する関心度の高揚を図ることが必要です。

最後に「うちだっ子」の健やかな成長を期待します。

推進委員氏名（浅羽 睦巳）

委員の依頼がありましたので、深い考えもなくお引き受けをいたしました。定例会を重ねるたびに世代の違う方々とお話ができまして大変勉強になりました。

自分がお世話になった時には知らずに通ってしまったことなど、地域の皆さんに支えられてもらって子どもたちも大きくなったということをあらためて感じました。

いい地域に住みたい、いい地域にしたいということは、その場所に住む人であれば誰でも思うことだと思います。「地域って何だろう」と考えてみたところ、確かに道路や橋、施設なども地域と考えられますが、むしろ人間と人間のつながりこそが地域ではないでしょうか。これからは、物質的な豊かさより精神的な豊かさが求められると思います。

子どもは大人を見て、影響を受けて育ちます。子どもたちが健全に育つ良い地域環境を整えることはそこに住んでいる大人の責任であると思いますので、自分としても「何とかしなくてはならない」のではなく「何が出来るか」を考え、できることから実行していきたいと考えています。

現在の社会では批判したりすることばかりで、希望を持たない素振りを大人が子どもに見せていると思います。人それぞれ苦しいところはありますが、「早く大人になりたい」と子ども達と言えるように、大人達も夢と希望を持って生活していきたいものですね。